市ヶ尾村内野家文書　文政2）

表紙）

文政弐年　　市箇尾　　卯年　１８１９年）

御伝馬其外諸入用割付帳

卯十二月日　役所

1丁オ1339　（1ページのおもて）

とら　十二月晦日

一、三百文　〇徳左衛門

御金飛脚

同日

一、同　〇善八

同断

正月廿八日ゟ二月五日迄

一、八百七拾弐文　丹蔵

江戸小遣

正月十二日ゟ

一、壱貫三百七拾弐文　新五兵衛

御年始出府小遣

同時

一、七百文　又七　右代藤助〇

百文足シ年貢帳ニ取ニ付ル

同断小歩

1丁ウ1340　（1ページのうら）

三月四日ゟ廿二日迄　新五兵衛

一、弐貫文

御仲間御用小遣ひ　但四日ゟ廿二日迄之内

三日帰村之上在宅分引手也

一時

一、九百文　四　藤助　忠左衛門組

内六百文　右衛門　弐百文外人

同時供小遣

正月　新五兵衛

一、五百八十文

献上代立かへ

卯ノ十一月分

一、弐百文　同人

佐江戸橋賃

卯ノ十二月分

一、弐百文　〇幸右衛門

はるな送り

二子集メ賃

八月

一、百文　〇八郎右衛門

川見分

2丁オ 1341 （2ページのおもて）

三月廿五日ゟ廿八日迄

一、五百文　丹蔵

江戸小遣ひ

同時

一、三百文　〇萬次郎

同行供　代久助行

閏四月十五日ゟ十九日迄

一、六百廿四文　丹蔵

御年貢上納小遣

六月十日

一、三百七拾弐文　新五兵衛

江戸小遣ひ

六月中

一、五百文　同人

暑気伺

同時

一、四百文　〇源之丞

同断供

2丁ウ 1342 （2ページうら）

七月廿二日ゟ同廿七日迄

一、六百廿四文　丹蔵

江戸小遣

同時

一、四百文　〇源助

四日分江戸小遣

七月七日

一、三百文　丹蔵

石田飛脚

六月晦日

一、三百文　同

江戸飛脚

同日

一、三百文　〇藤助

同断

七月廿九日ゟ八月五日まで

一、七百五十文　丹蔵

江戸小遣ひ

3丁オ 1343

八月十二日

一、三百文　同人

国役上納小遣

八月九日ゟ九月廿日迄
一、六百文　同人
御国役　三両弐朱四匁弐分五厘
二ケ月分立かへ利右衛門

十月七日ゟ十日迄
一、五百文　同人
定免御請小遣ひ

十一月廿一日ゟ同四日迄
一、同　同人
江戸小遣ひ

同日同断
一、四百文　〇亦七
同時供

3丁ウ1344
十月中旬
一、四百文　〇八郎右衛門
焼米上納賃立かへ

同日
一、同　〇要助

八月晦日
一、五百文　新五兵衛
御金上納并御用

正月
一、四百五十文　〇忠左衛門　平右衛門馬
年始ノ節道玄坂迄送り役

三月四日出
一、四百五十文　〇平右衛門馬
道玄坂迄送り馬

六月
一、八百文　新五兵衛
本郷迄暑気見舞ト店物送り馬
内四百五十文二郎吉へ

4丁オ1345
正月三月
一、三百文　同人
部屋頭祝儀
尤正月三月分

十二月
一、弐百五十文　〇平右衛門
大山初尾送り賃

十二月
一、弐朱　此分八百七十二文　新五兵衛

津島勧化但立符代

同

一、壱貫七百五十文　〇為五郎
　大口境入り揚賃　〇太郎右衛門

十月

一、弐百文　丹蔵
　恩田来光院説法勧化

同日

一、弐百文　〇徳左衛門
　同村江同断遣ス

4丁ウ 1346

十一月

一、百廿四文　新五兵衛
　年貢帳紙

八月中

一、五貫九百文　川伐人足賃

一、弐貫五百文　新五兵衛
　ろう人諸勧化

八月廿日昼九ツ時詰メ

右ハ

知恩院宮様御東向

ニ付

人足三十五人　但三百五十文ツヽ

外宰領代壱人半

此

　〆拾弐貫七百七拾弐文

5丁オ 1347

八月拾三日昼九ツ時詰メ

右ハ

御公家衆様御東向

ニ付

人足三拾五人

外ニ宰領三人

〆三十八人　但三百五十文ツヽ

此分

　〆拾三貫三百文

御公家衆様御帰京 ニ付

人足四拾四人

外ニ壱人半　但四百五十文ツヽ

此分

　〆弐十貫四百七十弐文

5丁ウ 1348

一、□右

知恩院宮様

御帰京 ニ付人足

四十四人

外三人

此分　但四百五十文ツヽ
〆弐拾壱貫百七十二文
寅十二月ゟ卯十二月二日迄
一、壱貫九百四十四文
　年分払　〇要助払

十二月廿七日分
一、弐百文　新五兵衛
　支度代　四人分

6丁オ 1349
寅ゟ卯十二月迄
一、弐百七十八文
　年希払　入　三郎兵衛

閏四月十一日ゟ十二月迄
一、七百文　〇徳左衛門
　年中払

一、六百七十二文　丹蔵
右ハ祭礼之時節大切品
紛失いたし申候ニ付村内ニ
拘り申候故高割ニ入レ
申し候以上

とら十二月ゟ卯十二月二日迄
一、五貫ト四文　丹蔵

　年中立かへ
　払方其外分

6丁ウ 1350
年中之内
一、百文　幸右衛門
　近村人足継荷重キ故遣シ申候
　辰二月廿一日　□□
惣〆百七貫六百三十八文

右之内
米七斗九升ハ
　但シ上ハ乗米也
代三貫五百六拾五文
　両ニ壱石五斗五升替
差引
〆百ト四貫六十九文

　但シ壱石ニ付
目詰メ
　弐百廿五文五分之処
7丁オ 1351
　廿六文ヲ□候

一、弐貫四百三十文　八左衛門
外ニ六百七十五文　たちん出分
外ニ三百文　源七たちん出分
〆三貫四百ト九文

年貢帳 ニ書ス

一、壱貫五百三十三文　忠左衛門
一、八拾壱文　源七分
　〆壱貫六百拾八文
外 ニ五百七十六文　たちん出分
外 ニ五十二文清吉分
　〆弐貫弐百十五文
年貢帳 ニ書ス

7丁ウ 1352

源七分　清吉分
一、三百廿七文　忠左衛門
忠左衛帳 ニ出ス

一、七百七十八文　長次郎
年貢帳 ニ書ス

小右衛門分入
8丁オ 1353
一、六百六文　傅吉
外弐百十八文　たちん
外百四十九文　たちん
三〆九百七十三文
右之通年貢帳 ニ書ス

一、四百六十五文　三郎兵衛
外 ニ弐百七十九文　徳左衛門分貸し出分
　〆七百四十八文
外 ニ弐百七十文　たちん出分
又〆壱貫ト廿二文　年中払方受取
外 ニ弐百七十八文
年貢帳 ニ書ス

8丁ウ 1354
佐右衛門分引残テ
一、壱貫五百四十三文　次郎吉
外 ニ五百十四文　たちん
　〆弐貫五十七文
御年貢帳 ニ書ス

清八太郎右衛門分引
一、九百九十二文　八十八
改　三百拾壱文　米たちん出分
九百九十二文　惣懸り　春役出分
弐口〆壱貫三百ト七文
年貢帳 ニ書ス

一、三百廿壱文　庄五郎事惣左衛門
年貢帳 ニ書ス
9丁オ 1355
一、六百十弐文　源左衛門
外 ニ五百七十壱文　たちん出分

〆壱貫百八十三文
年貢帳 ニ書ス

一、弐百拾弐文　源八
年貢帳 ニ書ス

9丁ウ1356
元郎分引
一、弐貫七百ト三十四文　善八
外 ニ壱貫六百五十二文　米たちん
〆四貫百八十六文
年貢帳 ニ書ス

一、五十三文　牛松

10丁オ1357
金二郎　文蔵
八十八　八左衛門　次右衛門分也
一、弐貫弐百九十文　太郎右衛門
外弐十三文　傳七分
〆弐貫三百十七文
外 ニ　壱貫三百壱文　米たちん
〆三貫六百十八文
年貢帳 ニ書ス
内四百七十四文右 ハ弐石弐升六合五夕六才
高違有之 ニ付文政未十 一月相改
相返すもの也

金次　二郎吉
善八　岡郎　元次郎
一、壱貫六百拾文
外 ニ九百七十九文岡郎分迄たちん
〆弐貫五百八十九文
年貢帳 ニ書ス

10丁ウ1358
一、壱貫五百ト七文　彦四郎
外 ニ三百三十六文　たちん
外 ニ弐百十八文　たちん
〆弐貫六十壱文
年貢帳 ニ書ス

一、壱貫九百拾壱文　金次郎
外八百四十壱文　たちん出分
此内　百七十九文佐右衛門ゟ出ル筈
〆六百五十八文書分
弐口
〆弐貫五百六十九文
内百八十五文惣掛リ出分
佐右衛門ゟ出ル筈
又引
〆弐貫三百八十文
年貢帳 ニ出ス

１１丁オ 1359

一、四百七十二文　　仙蔵
　外ニ百四十文　たちん　出分
　〆六百十六文
　　年貢帳ニ書ス
辰くれ相改候へハ日人馬壱石壱斗八升六夕之高へ〔　〕かけ
弐百七十四文之越足ニテ差引見□□ハ
百九十四文過ニ取ゆへ
　辰十二月晦　返ス

一、九百四十文　　権次郎
　外ニ四百六十弐文　たちん
　〆壱貫四百六文
　　年貢帳ニ書ス

一、百七十三文　　利三郎
　外百弐十五文　たちん
　〆三百弐文
　　年貢帳ニ書ス

１１丁ウ 1360

佐右衛門　傳吉分引
一、四百四十文　　小右衛門
　外ニ弐百拾四文　米たちん
　〆六百五十四文
　　年貢帳ニ書ス

一、五百廿壱文　　元七
　外七十五文　たちん出分
　〆六百文
　　年貢帳ニ書ス

一、弐百七十六文　　吉左衛門
　外百五十七文　米たちん出分
　〆四百三十七文
　　年貢帳ニ書ス

１２丁オ 1361

一、拾石八斗五升六合弐夕九才　佐右衛門
一、弐貫五百五十三文　　惣懸り
外五百六十弐文　　二郎吉分
　　同断
　〆三貫百拾九文出分
　外百ト弐文　手間分たちん
　外ニ五百四十五文　二郎吉分たちん
　三口　〆三貫七百六十六文
　　年貢帳ニ書ス

一、弐貫五百三十四文　　安兵衛
　外八百廿八文　米たちん
　〆三貫三百六十弐文
　　年貢帳ニ書ス

１２丁ウ 1362

一、九貫五百ト壱文　徳左衛門
惣懸り
内三百文　御年貢飛脚但廻り分
年貢帳ニ書ス
右年貢帳ニ書ス
辰二月廿四日之立合

13丁オ

一、七百拾九文　久蔵
外三百廿弐文　米たちん
〆壱貫四十壱文
年貢帳ニ書ス

一、壱貫ト八十壱文　清八
外百拾七文　八十八分也
〆壱貫弐百弐文　□□分
外百拾七文　八十八分たちん
外三百十六文手間分　同断
惣〆壱貫六百三十五文
右之通年貢帳ニ書ス

13丁ウ 1364

一、七十弐文　忠右衛門
年貢帳ニ書ス
尤嘉吉殿帳也

一、四百ト五文　亀蔵
外百十五文　たちん出分
〆五百廿文
右年貢帳ニ書ス

一
百六十三文　米たちん出分
外百七十四文　次郎吉分
一、六百拾弐文
外百六十九文　次郎吉分たちん
二
〆壱貫百廿四文　嘉吉
年貢帳ニ書ス

14丁オ 1365

一、弐貫弐百八十九文　岡右衛門
六百六十七文　米たちん出分
〆弐貫九百六十文
右年貢帳ニ書ス

一、弐貫五百三十六文　朝光寺
一、七百七十四文　たちん出分
〆三貫三百十四文
右年貢帳ニ書ス

14丁ウ 1366

一、壱貫百四十三文　平右衛門
外ニ五百五十三文　たちん出分

〆壱貫七百文
年貢帳ニ書ス

一、七百八十八文　要八
外ニ弐百九十文　たちん出分
〆壱貫八十弐文
年貢帳ニ書ス

一、百弐拾文　佐左衛門
年貢帳ニ書ス

１５丁オ 1367
一、三百八十七文　藤助
外十三文　たちん
〆四百ト四文
年貢帳ニ書ス

一、~~五百三十文~~　永輔
~~年貢帳ニ書ス~~

一、百五十弐文　久助
年貢帳ニ書ス

１５丁ウ 1368
源右衛門引テ
一、三百七十八文　金蔵
外三十六文　たちん

〆四百十八文
年貢帳ニ書ス

一、弐百四十七文　又七
外百十七文　市分也
〆三百六十四文　内四文市分ゟ引
又引〆三百六十文
右ハ年貢帳ニ書ス

一、壱貫百廿七文　東福寺
外弐百六十三文　たちん出分
〆壱貫三百五十七文
六十文

１６丁オ
一、六百四十五文　友右衛門
外弐百六十四文　たちん出分
〆九百十三文
年貢帳ニ書ス

一、三貫八十三文　伝次郎
外ニ壱貫五百五十五文　たちん出分
〆四貫六百四十弐文
年貢帳ニ書ス

１６丁ウ 1370
一、~~六貫九百九十壱文~~　新五兵衛

外二弐貫九百廿四文　たちん出分
此弐口
年貢帳ニ書ス

一、六貫七百ト三文　丹蔵

17丁オ 1371

一、五百五十五文　新蔵
外ニ三百五十七文　たちん出分
〆九百十四文

一、四百五十弐文　条蔵
外弐百ト三十文　たちん出分
〆六百八十弐文
新蔵分共
二口〆壱貫六百文

一、四十五文　地蔵堂

17丁ウ 1372

一、九百拾壱文　平左衛門
外ニ三百六十弐文　たちん出分
〆壱貫弐百七十三文
年貢帳ニ書ス

一、壱貫ト弐拾十五文　仙次郎
外四文　市分之出分
外四百三十文　米たちん出分
〆壱貫四百五十六文
年貢帳ニ書ス
十二月十七日

一、四百十六文　常二郎
外ニ五十弐文　たちん　惣わり
〆四百六十八文
年貢帳ニ書ス

18丁オ 1373

一、三百六十壱文　安左衛門　阿堂
外弐百廿七文　たちん出分
〆五百八十八文
年貢帳ニ書ス
十二月十七日

是ハ改テ可見返存候

一、三百ト壱文　紋之丞
外弐百十弐文　たちん出分
〆五百十三文
年貢帳ニ書ス

18丁ウ 1374

一、壱貫八百四十七文　坂下　九左衛門
惣わり

外 ニ五百四十弐文　たちん
　〆弐貫三百八十九文
　　年貢帳 ニ書ス

一、壱貫百廿九文　木十右衛門　作兵衛
外 ニ三百八十七文　たちん出分
　〆壱貫五百廿文
　　年貢帳 ニ書ス

外弐百十四文　たちん出分
一、九百四十九文　清右衛門

19丁オ 1376

　〆壱貫百六十三文
　　年貢帳 ニ書ス
　　但庄蔵年貢帳 ニ書ス

一、三百五十弐文　惣わり　与四郎
外 ニ百九十壱文　たちん出分
　〆五百四十七文
　　年貢帳 ニ書ス

一、壱貫弐百六十五文　甚蔵
外六百七十壱文　たちん出分
　〆壱貫九百四十文
　　年貢帳 ニ書ス

19丁ウ 1377

一、壱貫六十八文　利右衛門
外弐百十八文　秀松分
百八十六文　手間分
三百弐十七文　亀次郎分
四口〆弐貫ト四十七文
　　年貢帳 ニ書ス

外弐百七十壱文　たちん出分
一、八百六十七文　金兵衛後家
　〆壱貫百四拾弐文

20丁オ 1378

一、壱貫七百七十五文　亀次郎
　　惣わり出分
外 ニ七百廿四文　手間分
外 ニ百廿弐文　彦四郎分
外 ニ弐百十六文　八郎右衛門分
　〆弐貫八百四十文
　　年貢帳 ニ書ス

一、壱貫三百三十壱文　浅右衛門
外七百廿文　たちん出分
二口〆弐貫ト五十壱文
　　年貢帳 ニ書ス

20丁ウ 1379

一、壱貫八百三十三文　栄蔵

外 ニ九百四十四文　たちん
二口〆弐貫七百七十文
　年貢帳 ニ書ス

一、七百廿七文　　太兵衛
外 ニ弐百八十八文　たちん出分
〆壱貫ト十九文
　年貢帳 ニ書ス

一、弐十八文　　善左衛門
　年貢帳 ニ書ス

２１丁オ 1380
一、三十壱文　　久八

一、壱貫六百十八文　新助
外 ニ七百七十壱文　たちん出分
二口〆弐貫三百八十九文
　年貢帳 ニ書ス

２２丁ウ 1381
一、七百廿九文　　太七
外 ニ三百ト七文　たちん出分
〆壱貫ト三十六文
　年貢帳 ニ書ス

一、壱貫八百四十八文　　儀右衛門
外 ニ九十壱文　　安右衛門分
〆壱貫九百四十三文
外 ニ四百三十五文　たちん
二口〆弐貫三百七十八文
　年貢帳 ニ書ス

外 ニ八百八十五文　たちん
一、　壱貫七百八十三文　源之允
二口〆弐貫六百七十弐文

２３丁オ 1382
一、壱貫百八十六文　　平吉
外四十五文　　源内分出分
〆壱貫弐百三十五文
　六百十七文　たちん
〆壱貫八百四十七文
　年貢帳 ニ書ス

一、六百弐文　　文吉
外 ニ弐百三十壱文　たちん
〆八百三十三文
　年貢帳 ニ書ス

２３丁ウ 1383
一、壱貫弐百四十七文―百九十弐文
　平吉分引　　源内
外六百三十六文たちん出分

改十二月
一、壱貫百壱文　惣わり
一、六百三十六文　たちん出分
〆壱貫七百三十七文

一、九百八十文　源左衛門
外弐百十六文　たちん出分
〆壱貫百七十弐文
右ハ年貢帳ニ出ス

２４丁オ 1384
一、七百五十弐文　由右衛門
外ニ三百ト七文　たちん
〆壱貫五十九文
年貢帳ニ書ス

一、五百三十壱文　三次郎
外ニ三百四十四文　たちん出分
〆八百七十五文
年貢帳ニ書ス

２４丁ウ 1385
一、壱貫四百九十壱文　吉左衛門
外ニ三百七十三文　たちん
外ニ弐百七十文　源左衛門、徳左衛門分たちん
〆弐貫百四十弐文
年貢帳ニ書ス

一、五百拾壱文　善兵衛
外百三十四文　たちん出分
〆六百四十五文
年貢帳ニ書ス

一、五十壱文　弥助
年貢帳ニ書ス

２５丁オ
一、弐拾三文――七兵衛
――年貢帳ニ書ネ

一、八百九十文　幸右衛門
外ニ弐百七十文　たちん出分　見積り
二口〆壱貫百六十四文
年貢帳ニ書ス

忠左衛門分引
一、七百廿五文　左七
年貢帳ニ書ス

２５丁ウ
一、弐貫百拾五文　万次郎
外ニ五百八十四文　たちん
外ニ弐百ト五文　伝兵衛分
〆弐貫九百八文

右 八年貢帳 ニ書ス

２５丁ウ1388　裏表紙）

高改之時

百七十四文　　二郎吉分

改出ル

高三石弐斗三升四合九夕

内弐斗五升七合

〆弐石九斗七升九合九夕

此米六俵ト壱升三合七夕弐才

外 ニ六升三夕四才　ちん米

外 ニ弐升壱合七夕五才　□り代

〆六俵ト九升五合八夕壱才

一、本 〆弐俵ト三斗三合八夕九才

源七分

弐口

〆八俵三斗九升九合七夕

（予）

平成三十　一年四月三日　割石洋策翻刻ス